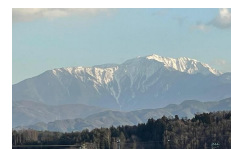


ああ 遠くの空は 晴れている



NO15

南箕輪村教育委員会

南箕輪村のキャリア教育事業を担当していますキャリアコンサルタントの富岡です。今回はキャリア教育について解説させていただきます。

【キャリア教育とは何か？】

キャリア教育とは、子どもたちが将来社会人や職業人として自立し、「自分らしい生き方」を見つけるために必要な基礎的な能力や態度を育てる教育のことです。

【「キャリア」＝「職業」ではなく「生き方」そのもの】

「キャリア」と聞くと「仕事」や「出世」をイメージしがちですが、教育におけるキャリアとは、人が生涯の中で果たす様々な役割（職業人、家庭人、地域社会の一員など）のつながりや積み重ねのことです。

【なぜ今、キャリア教育が必要なのか？】

現代は産業や経済の変化が激しく、雇用の形も多様化しています。その一方で、若者の早期離職やフリーターの増加、働くことに不安を抱えたまま就職し適応できないといった、学校から社会への移行に関する問題が浮き彫りになっています。そのため、子どもの頃から発達に応じて、将来社会で自立するための基盤づくりをサポートする必要性が高まっています。

【どんな力を育てるのか？】

単に「読み・書き・計算」や専門知識を教えるだけでなく、どんな分野や職種でも共通して必要となる「基礎的・汎用的能力」を育てます。具体的には以下の4つの能力があげられます。

- ★人間関係形成・社会形成能力：他者とコミュニケーションをとり、協力し合う力
- ★自己理解・自己管理能力：自分の個性や役割を理解し、自らをコントロールして行動する力
- ★課題対応能力：直面した問題を論理的に考え、解決に向けて行動する力
- ★キャリアプランニング能力：学ぶことや働くことの意味を理解し、自分の人生を設計して主体的に進路を選ぶ力

【学校ではどのように行うのか？】

- ★学校生活全体で行う…特定の「キャリア教育」という教科があるわけではありません。学習指導要領にも明記されている通り、小学校から高校まで、すべての教科の授業や学校行事など「教育課程全体」を通して行われます。中でも、自分自身の現在や将来について直接考える総合的な学習の時間（総合的な探究の時間）を中心として進められます。
- ★「見通し」と「振り返り」…児童生徒が日々の学びや活動を記録し、将来への見通しを立てたり、過去を振り返ったりするためのポートフォリオ「キャリア・パスポート」を活用しています。言語化することで自分自身の成長や課題に気づくことができます。
- ★リアルな体験の重視…教室の中での学習だけでなく、職場体験、自然体験や課外学習、地域の行事への参加など、実際に社会や仕事に触れる実践的・体験的な活動も重視されています。

【まとめ】

小中学校や高等学校における「キャリア教育」とは、単なる「就職指導」や「進学指導」ではありません。子どもたちがこれからの社会を生き抜くための「人間力」を、日々の学校生活全体を通じてじっくりと育てていく教育の形です。

17 2026年(令和8年)3月26日(木曜日)

キャリアコンサルタント
富岡 順子さん(41)＝南箕輪村

自ら学び適応する力を

南箕輪村や伊那市などで、キャリア教育の推進に取組む。職業紹介や進路指導、児童・生徒のキャリア教育を「生き方を磨く」として、自ら学ぶことで主体的に進路を選択できるキャリア教育を推進する。小学校から大学までの教育機関を横断的に連携し、情報共有する南箕輪村の「ハコカムネット」コーディネーターを務める、総合学習や中学校の職業体験を支援する。このほか、長野高校に接続するサポート校として、伊那市内のローカル人材育成センターで講師を務めたりと、活動は多岐にわたる。企画にあるのは時代とともに変化するキャリア教育の姿。

大学卒業後、夫が借入に苦しむのを助けて、伊那市へ移住。伊那市観光協会「教員から「キャリア教育が楽しい」と言ってもらえること」がある。そういって教員の皆さんが、子どもたちのために「なれば」と期待を込めた。(右田 隆裕)

活動を通じて、キャリア教育への理解が教育現場で深まっている。南箕輪村へ移住。伊那市観光協会「教員から「キャリア教育が楽しい」と言ってもらえること」がある。そういって教員の皆さんが、子どもたちのために「なれば」と期待を込めた。(右田 隆裕)

【出典：2026, 3, 26 中日新聞（許諾済）】